

新規アルコール酸化触媒

一級アルコールのみならず二級アルコールも効率的に酸化できる。空気酸化反応を行うことができる。

概要

アルコール酸化反応は、医薬、農薬、香料、化粧品等の高付加価値化合物を有機合成する際に用いられる基本的な反応の一つであり、反応触媒としてTEMPOやAZADO骨格を有する触媒 (AZADO、1-Me-AZADO、ABNOなど) を用いたがアルコール酸化反応が挙げられるが、製造プロセス、触媒活性、反応効率において何らかの問題がある。本発明はNor-AZADOを触媒として用いるアルコール酸化方法に関するものであり、一級アルコールのみならず二級アルコールも効率的に酸化することができ、空気をバルク酸化剤として用いる場合において高い反応効率を達成できる。

効果・応用例

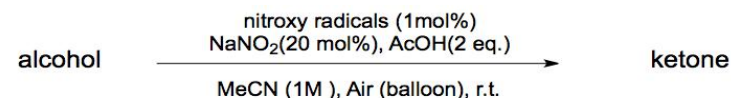
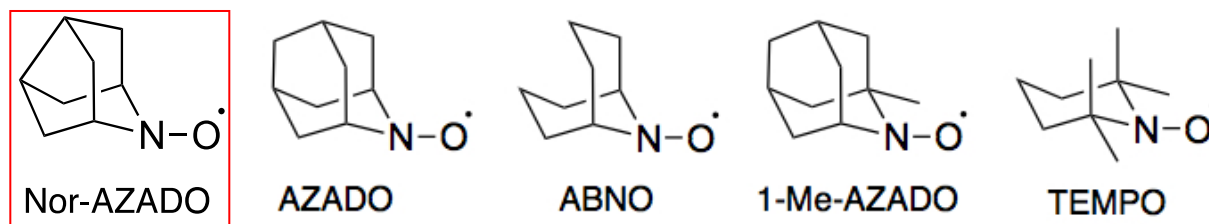
他のアルコール酸化触媒 (AZADO, 1-Me-AZADO, ABNO) を用いた酸化方法と比較して、
 ・二級アルコールであっても効率的な酸化反応が進行し、よりも高い触媒回転率が得られる。
 ・空気をバルク酸化剤に用いる反応においても高い触媒活性を示し、反応をより短時間で完結させることができる。

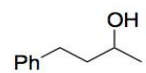
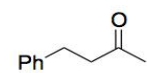
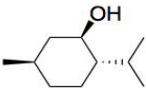
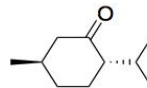


特許データシート

特許番号: WO2012/008228

発明者 : 岩淵 好治、林 政樹

Nor-AZADOの化学構造式およびアルコール酸化特性



entry	substrates	products	Conversion* (time)				
			TEMPO	1-Me-AZADO	AZADO	ABNO	Nor-AZADO
1			5% (13h)	99% (9h)	100% (7h)	99% (12h)	100% (6h)
2			0% (14h)	83% (14h)	100% (10h)	99% (14h)	100% (7h)
3			0% (14h)	99% (10h)	100% (8h)	99% (10h)	100% (6h)

* GC

連絡先

株式会社 東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049 FAX 022-222-3419

問い合わせは[こちら](#)からお願いします。